

HOT MITAKE

ほっとみたけ



御高町防災訓練
シャッキアップして大切な人を救い出せ!

◆◆ 今月号の主な内容 ◆◆

【特集】 森と未来を切り拓く ～北海道下川町で環境交流体験～

- 高校生防災リーダー 誕生 (P6)
- 風水害に備えて…防災訓練実施 (P8)
- お宅のブロック塀等は安全ですか? (P9)
- 町のHOT NEWS (P17) ○保健センターだより (P29)
- 町長月記 (P33)

2018
平成30年 **10**
No.612

森と未来を切り拓く

北海道下川町で
環境交流体験

次世代を担う若者が参加



〔御嵩町環境都市交流体験プロジェクトとは…〕

本プロジェクトは、御嵩町と同じ「環境モデル都市」であり、「環境未来都市」「SDGs※未来都市」にも選定されている北海道下川町の先駆的な森林保全活動を、現地で体験すること、そして、自然環境や生活文化への関心興味を醸成（しやしんせい）させることを目的として実施しています。

※SDGs 11世界が抱える問題を解決し、持続可能な社会を作るための目標

8月17日から21日までの4泊5日の日程で、町内在学の中学生6名と、森

林ボランティア水士里隊員、教職員、町職員各1名の合計9名が参加しました。

下川町の森林のようすや活用方法、整備・保全への取り組みを実際に目で見て、体験することで、御嵩町との違いや、御嵩町の森林の再生にどう活かしていったらよいかを子どもたち自身の目線で考えました。

また、今年度は地域連携による活力ある高校作り推進事業として東濃高等学校の生徒3名と教職員1名も下川町へ行って体験しています。ともに力を合わせて活動することで新たな気づきにつながるなどの相乗効果が生まれ、より良い体験学習になりました。

■問い合わせ：環境モデル都市推進室
担当：笹橋（内線2242）

平成25年3月、御嵩町は政府から「環境モデル都市」に選ばれました。地球温暖化を防止するために、町民や事業者のみなさんと協力して、低炭素社会（11二酸化炭素の排出が少ない社会）の実現に向けた取り組みをおこなっています。

御嵩町環境都市交流体験プロジェクトは、環境モデル都市行動計画の5つの大きな取り組みのうちの「人づくり・場づくりの推進」として実施しているもので、御嵩町の将来を担う「人づくり」とともに「森林の再生」を推進していくことを目的としており、今年度で4回目を迎えます。



<プログラム行程> 8月17日（金）～21日（火）

- 17日 ●下川町の森林視察（2000年の森展望台）
- 18日 ●オリエンテーション／職員による下川町の紹介
●下川町森林組合北町工場見学
●炭材採集（間伐作業）
- 19日 ●炭焼き体験（炭焼き窯づくり、火入れ）
- 20日 ●一の橋地区見学（住民センターとバイオマスボイラー）
●炭焼き体験（窯開け）
●できた炭でBBQ
- 21日 ●ふりかえりワークショップ



▲下川町イメージキャラクター「しもりん」



上之郷中学校2年生
瀬瀬神偉さん

「下川町で驚いたこと」

僕は北海道下川町に行って、驚いたことが二つあります。

一つ目は「森林に手を加えないとどうなるか」という実験をおこなっていた事です。御嵩町ではそのような実験を聞いたことがありませんでした。二つ目は炭をみんなで一生涯命作ったのに、使った木の5%くらいしか炭になっていなかった事です。

また、この研修の中で一番難しかった事があります。それは間伐作業です。自分たちで間伐する木を決め、倒す方向を決めて切ってみると、倒れた時には自分たちで決めた方向に倒れていなくて、とても難しかったです。

僕は今回体験したことを、この御嵩町でも取り入れていきたいと思ひました。



「最後まで大切に」

五日間の研修の中で、今住んでいる御嵩町と下川町の違いをたくさん見つけることができました。



下川町は、木をしゃぶりつくすように使っていました。

木から炭やチップを作るだけではなく、木の葉などに含まれる成分で虫除けスプレーやハンドクリームなどを作ったりして、木全体を最後まで使っていました。

また、自然なものを使ってお金を余分に使わない所がさすがだなと思いました。

今、新しい技術が発達している中でも、自然なものを使っていた昔ながらの方法を使うことは、森林のためにもなると思うので、御嵩町でもできたらいいなと思いました。



上之郷中学校2年生
山田紗々さん

「資源を大切に利用」

北海道へ行っていろいろな体験をさせてもらいました。その中でも炭づくりが一番心に残っています。

炭作りは二日間かけておこないました。まず木の間伐は、ノコギリをまっすぐにして切っていきます。力だけではなく、ノコギリの向きもきれいじゃないと上手く切れないので難しかったです。次に、まき割り穴ほりをしました。穴は縦1m20cm、横1m50cmです。角が直角になるようにみんな協力してほりました。

最後に炭焼きです。穴に木を入れ、火の当番を交代しながらやりました。全ての木が炭にできたわけではなかったのですが、炭を作るのは難しいと思いました。

貴重な体験がたくさんできて多くのことを学べました。



向陽中学校2年生
小林美咲さん

「木を中心に町を発展」



下川町に行く前までは、御嵩町はけっこう森林の活用に力を入れているのではないかと思っ

ていました。けれど実際に下川町に行ってみるとの違いにびっくりしました。

まず一つ目は、木をしゃぶりつくすように使っていたことです。木の枝葉までも利用して化粧品を作ったり、川にある流木まで加工して製品にしていると聞いて、本当に驚きました。

二つ目は、一の橋地区にある集合住宅です。暖房にバイオマスボイラーを使っていたり、より住みやすい環境を作って、人口が減らないようにしていたりしたので、御嵩町でもできたらいいなと思いました。

今後、御嵩町の森林活動に積極的に参加したいと思います。



向陽中学校2年生
山田恵寿さん

「研修で学べたこと、経験したこと」

今回の研修では、学習したことや、初めて経験したことが数多くありました。

まず、「環境モデル都市」と「環境未来都市」の事について知りました。両方とも、名前の通りで、環境についてのモデルとなる都市、少し進んだ未来の取り組みを行う都市、として政府から選ばれていました。

そんな環境未来都市である下川町で、木材を使いつくす工夫や、今起きている環境問題の解決を目的とした取り組み等を学ぶことができました。加えて、「初めて北海道に行った」という経験は、一つの思い出としても、印象深く、心に残りました。

今回の研修で学んだことをこれからの生活に活かしていきたいと思えます。



共和中学校2年生
伊佐治庄真さん



共和中学校2年生
小森遼友さん

「自分たちで作った炭を使ってBBQ」

北海道の下川町での研修の一番の思い出は、BBQをするために、自分たちで木を切って炭を作ったことです。

森に入って自分たちで切り方や倒す方向を考えて木を切って、地面に穴をほって、レンガを使っていいいに穴をふさいで、2日間かけて炭を焼きました。

うまく焼けていなくて、炭は5%の量しかできなかったけど、自分たちで炭をつくることを学べたし、その炭で楽しくBBQができたのでよかったです。

これから、下川町でやっている森林についての取り組みについて学んできたことを御高町のみんなに伝えていきます。



「未来を切り拓く」

「岐阜橋」——。下川町に岐阜県を感じる場所がありました。明治時代に岐阜県の人が開拓に入り、森を切り拓き未来を切り拓きその名がついたそうです。広大な大地を開拓した人々の力と、その森を守り活用し続けている現代の人々の力が相交わった町だと感じました。

一本の木から、バイオマス燃料・木炭・化粧品・肥料など余すことなく利用し、木の可能性を無限に広げていることに驚きました。そして何より、自分たちで切り倒した木から木炭を作る工程は本当に大変でした。

一見成功に見えた木炭作りでしたが、5%程度しか木炭が出来ず、難しさを痛感する体験となりました。

当たり前に使っている物の有り難みを再認識しました。

風で木々が笑い、大空には星が降り、地域の知恵で人々が笑い、心には新しい芽が生える場所、下川町でした。



共和中学校教諭
和田あかねさん

「プロジェクトに同行して」

下川町は、明治34年当時の岐阜県郡上郡高鷲村、北濃村からの入植者が、アイヌの人たちと原野を切り拓き、その原形ができたそうです。

昭和30年前後から今日を見越した先人達が、町有林を確保して、森に木を植えて、育てて、伐って、使うを繰り返す循環型森林経営の基盤を築いてきたとのこと。

また森林からの恵みを、付加価値の高い製品に仕上げ、その種類と担い手が年々広がっていることは、持続可能な環境経営の神髄であると感じました。

今回は中学生6名に、高校生3名も加わり、世代間の競争と協調が上手く醸し出されるとともに、一本の木を「しゃぶりつくす」精神が子どもたちに伝わり、森林への一層の関心が深まったことに、御高の将来への期待が高まったと感じた下川の体験プロジェクトでした。



隊員
水藤哲生さん

今回、地域連携による活力ある高校作り推進事業として、東濃高等学校の生徒も下川町へ行って体験しています。生徒と教諭の感想をお伝えします。

「下川町の先進的な環境施策を学んで」

今回、地域と連携した環境教育の一環で、初めて本校生徒3人が参加させていただきました。

北海道の自然を体感し、下川町の歴史や環境未来都市としての先進的な取り組みの学習、さまざまな見学や現地ならではの体験を通して、たくさんの方の知識を吸収することができました。

さらにはそれらの知見を活用し、環境施策を軸とした御高町の一層の活性化や、将来の方向性について高校生なりに真剣に考えることができ、大変有意義な研修となりました。

また5日間を通して、参加した御高町の中学生と交流を深めることができましたことも大きな成果の一つです。

今後本校生徒がこの研修で得た見識を、学校や地域で少しでも広げていくことを期待しています。



東濃高等学校
あおいとしのさ
青井俊久 教頭



東濃高等学校2年生
いちばら つかさ
市原 司 さん

「下川の開拓の歴史に関心」

僕は、今回の研修では、下川町と岐阜県の関係について特に興味を持ちました。明治時代に原生林だった下川町を初めに開拓したのは、岐阜県郡上市の農家の人たちだということを知り大変驚きました。今でも御高町から下川町まで8時間以上かかったのに、どうやって移動したのか、機械もない中どうやって開拓したのか、すごく興味を持ちました。5年で5ha以上開拓するとその土地がもらえるという条件だったそうですが、当時の岐阜県民のエネルギーはすごいと感心しました。

現在も下川町のお年寄りが岐阜弁を話したり、町に「岐阜橋」があったりするのにも納得です。また、北海道の道路がまっすぐなのは開拓の名残と知り大変勉強になりました。



「一の橋地区の環境配慮型住宅」

僕が興味を持ったことは「一の橋地区」のことです。ここは限



界集落の人々を環境配慮型の住宅に集めて、木質バイオマスボイラーで暖房をまかない、地域の資源を活用した新たな産業を取り入れて住民のみなさんを元気にしていました。

今、日本中で課題となっている高齢化と環境問題と産業の衰退を一気に解決する素晴らしい施設だと思いました。施設内ではシイタケの菌床や「ソーリ工房」の見学が楽しく、特に工房での石けん作りはなかなかうまくできませんでしたが、今度行ったときはぜひヨモギの香りの石けんを作ろうと思いました。

御高町でもこのように地区のためにもなり、見学に来た人も楽しめるような施設があればもっと人が増えるのではないかと思います。



東濃高等学校2年生
ひろのぶ ひろのぶ
日比野電平 さん

「炭作りに苦労するも達成感」



東濃高等学校2年生
いわた りょう
坪内 寮 さん

今回僕は一番に残っているのは、炭作りです。まず木の間伐から体験しました。頑張って直径12cmの太い木を切り倒し、90cmの長さで切りましました。そして地面に1.5m四方の穴を掘り、炭材を入れ、熱が逃げないように草や段ボール等をかぶせ、その上から念入りに土をかぶせました。火入れの後、モウモウと水蒸気が上がるのを見て、『絶対きれいな炭ができる』と思いました。翌日、期待しながら窯を開けると5%位しか炭ができていませんでした。

炭材がすぎたのと、前日の雨で湿気が多く熱が伝わりにくかったのが原因だそうです。かなりがっかりしましたが、達成感がありました。

中学生と協力して作った貴重な炭で食べたBBQはとてもおいしかったです。





▲ 防災アカデミーに参加した生徒たち

高校生防災リーダー誕生

高校生版防災アカデミーを開催

〔高校生防災アカデミーとは…〕

町では、若い世代の防災リーダー育成を目的とした「高校生防災アカデミー」を昨年初めて開講しました。高校生を対象とした防災講座を開催している自治体は全国的にも非常に珍しく、先進的な取り組みです。

今年で2年目となる本アカデミーは、東濃高等学校と東濃実業高等学校、八百津高等学校との3校連携による合同開催となり、合計19名の生徒が参加しました。

夏休み期間（7月23日～25日）を利用し、御嵩町防災コミュニティセンターで開催されました。

当日は専門家による防災講義のほか、地図を使い避難経路を考えるグループワーク、雨粒発生装置による気象実験、救命講習やロープワーク実習など、さまざまな形式での講習がおこなわれました。

生徒のみなさんは初めて聞く防災用語に戸惑いながらも、他校の生徒とすくなく打ち解けあい、協力しあいながら実習に参加していました。

この3日間のアカデミーを修了した生徒のみなさんには防災リーダー認定証が授与され、災害時には学んだことを活かしてそれぞれの地域での防災活動等に活躍していただきます。

生徒のなかには、日本防災士機構認定の『防災士』の資格を取得した生徒もいました。

今回、3日間で学習したカリキュラムを少し紹介します。

耐震と補強について



パスタとマッシュマロ、ひもを使ってチームでタワー作りをチャレンジしました。作ってみると意外に難しいことに気づきます。タワーに加わる重さを感じることで、耐震や補強の必要性を感じました。

地震に負けない空間作り



自宅の家具の配置などをイラストに描きおこし、地震後家具がどう倒れるか予測しました。それにより自宅のどこが危険か知るとともに、家具固定のポイントについて学びました。

1日目	<ul style="list-style-type: none"> ◎耐震診断と補強（パスタとマッシュマロ、ひもを使って倒れない建物を作り、耐震に何が必要か考えよう） ◎災害時食の備え（ハイゼックス非常食を作って食べよう） ◎地震に負けない空間作り（自宅のどこが危険か、絵を描いて考えてみよう）…など
2日目	<ul style="list-style-type: none"> ◎普通救命講習（AEDの使用法と心肺蘇生法を学ぼう） ◎命を守る防災気象情報（気象情報を上手に取り入れて命を守る行動につなげよう）…など
3日目	<ul style="list-style-type: none"> ◎災害図上訓練（地図を見て危険な場所を判断し避難経路を考えよう） ◎緊急救助技術（がれきから人を助け出す方法や、ほどけないロープの結びかたなどを学ぼう） ◎避難所シミュレーション（ゲーム方式で避難所運営を体験しよう）…など

緊急救助&ロープワーク

地震で建物が崩壊してしまったり、時が来たら挟まった人をどのように助けようか、身近にある車のジャッキなども救出には有効な道具と学びました。



命を守る防災気象情報

気象情報を上手に入手することができれば、防災行動に活かされます。雲の形で危険性を判断する方法や、雨粒がどのように落ちてくるか、下から風を当てて実験し、風と雨の関係を学びました。



AED救命講習

非常時に命を救うAED。心肺蘇生とAEDの使用法を学びました。意識がなく、正常な呼吸をしていない場合には心臓マッサージと人工呼吸が必要になる場合があります。



災害図上訓練 DIG (ディグ)

地図上で危険な場所が無いか確認しながら、避難所などの情報を書き入れました。どんな災害の可能性があるか、避難経路はどうするといった、話し合いながら地図を完成させました。



ハンリ (大鍋) を使った非常食

特殊な袋 (ハイゼックス) に米と水を入れ、大鍋で30分煮ます。おにぎりを作り、非常時に役に立つレトルトカレーをかけて食べました。仲間と協力し合いながら作る食事も防災学習です。



今回参加した生徒たちは、「大きな災害はいつ自分の身に襲いかかってくるかわかりません。非常時には、学んだことを活かして、自らが率先して救助活動にあたりたいと思います」と感想を述べてくれました。
町では今後も幅広い世代で防災意識、知識を高める活動をおこない、町全体の防災力向上を図っていきます。
■問い合わせ：総務防災課防災安全係
担当：板屋 (内線 2205)



停電の情報がスマートフォンでわかります

きずなネットアプリのお知らせ

中部電力では、広域停電時に速やかに停電情報をお知らせするアプリ「きずなネット」のサービスを運用しています。

あらかじめ登録いただいた地域が停電となった場合、停電情報をスマートフォンに発信するサービスです。登録は無料ですので、ぜひ登録してみてください。

アプリをインストール後は、画面に表示された手順に従って、停電の通知サービスを受け取る地域を登録してください。

※複数地域の設定も可能です。



きずなネット

検索

■問い合わせ：中部電力(株)多治見営業所
☎ 0120-985-232

風水害に備えて：防災訓練実施

近年、全国各地で台風や集中豪雨が
多発し、土砂災害や浸水害などの被害
が発生しています。

こうした現状を受け、御高町では風
水害の発生を想定した防災訓練を9月
2日(日)に開催しました。

防災訓練には、各自治会の自主防災
組織や自衛消防隊のみなさんをはじめ
、町内小中学生、婦人団体協議会、

日赤奉仕団、安全協議会、LPG協会
など約1,000名が参加しました。

今年は上之郷小学校、御高公民館、
御高小学校、中公民館、伏見公民館の
5つの会場で実施し、各会場とも地域
で活躍する防災リーダーが中心となっ
て運営をおこないました。各会場の訓
練のようすを紹介します。

◆上之郷小学校会場



▲ ペットと一緒に避難する時のポイントを学びました

- ◎ 非常持ち出し袋の点検講習
- ◎ ハイゼックス袋による炊き出し
- ◎ 消火体験 ◎ ジャッキアップ体験
- ◎ バス非常口避難訓練(児童のみ)
- ◎ 応急手当 ◎ ペット同行訓練



▲ 非常用持ち出し袋の中に入れるものについて話し合いました

◆御高小学校会場



▲ 非常時には、電気自動車から電力を供給することができます

- ◎ 非常持ち出し袋の点検講習
- ◎ 担架・ロープワーク
- ◎ 新聞紙スリッパ作成
- ◎ 避難所開設訓練 ◎ 炊き出し
- ◎ 電力供給訓練 ◎ 災害復旧訓練



▲ 初期消火は重要。キッチンなどに消火器を置きましょう

◆伏見公民館会場



▲ 煙ハウスで火事の際の逃げかたを学びます

- ◎ 非常持ち出し袋の点検講習
- ◎ AED講習 ◎ 応急手当
- ◎ カレーライスの炊き出し
- ◎ 煙体験ハウス ◎ 初期消火

◆中公民館会場



▲ AED講習。繰り返し訓練することが重要です

- ◎ 非常持ち出し袋の点検講習
- ◎ 初期消火 ◎ AED講習
- ◎ 仮設トイレ組立 ◎ 炊き出し

◆御高公民館会場



▲ けがをした人を安全に運ぶには担架が有効です

- ◎ 非常持ち出し袋の点検講習
- ◎ 防災倉庫点検 ◎ AED講習
- ◎ 避難所開設訓練 ◎ 初期消火
- ◎ 炊き出し ◎ 新聞紙スリッパ

参加者の声 ～防災リーダーから～



伏見地区
防災リーダー
須美静香さん

「非常持ち出し袋」の点検講習で、準備する品などについてお話をしました。どこで購入するかなどの質問が多くあり、具体的に準備をしていこうという参加者の意識を感じました。
実際に防災訓練に参加すると意識の変化があると思います。
防災についてさらに興味を持つ人が増えていくよう取り組んでいきたいです。
多くの人が防災訓練に参加してくれたら嬉しいですね。

昨年引き続き各会場の共通訓練として「非常持ち出し袋」の点検講習をおこないました。参加者からは「何をどれだけ備えるべきか一度家族で話し合ってみます」や、「すぐに持ち出せるよう置き場所を考えなくては…」といった感想がありました。
防災の基本は「自分の安全は自分で守る」ことです(自助)。
今回の訓練を機に一人でも多くの人が非常持ち出し袋を準備していただけることを望んでいます。家庭などで一度話し合ってみてはいかがでしょうか。
■問い合わせ：総務防災課防災安全係 担当：板屋(内線2206)

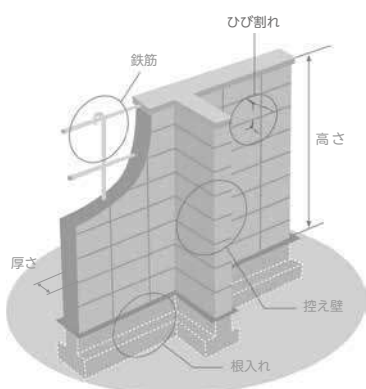
お宅のブロック塀等は安全ですか？

今年6月に発生した「大阪府北部を震源とした地震」で、ブロック塀が倒壊し、通学途中の小学生が死亡するという痛ましい事故が起きました。これは、本町でも起こりうるかもしれません。

ブロック塀等の倒壊は、人への直接的な被害のほかに、緊急車両等の通行の妨げにもなることから、日ごろから所有者の責任による適切な管理が重要となります。ブロック塀等の倒壊を未然に防止し、地震に強い良好な住環境づくりをしていきましょう。

お宅のブロック塀等の安全性を下記のイラストを参考にチェックしてみてください。

ブロック塀等の点検のチェックポイント



出典：パンフレット
「地震からわが家を守ろう」
日本建築防災協会
2013. 1より一部改

以下の項目を点検し、ひとつでも不適合があれば危険なので改善しましょう。まず外観で1～5をチェックし、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、専門家に相談しましょう。

- 1. 塀は高すぎないか…塀の高さは地盤から2.2 m以下ですか。
- 2. 塀の厚さは十分か…塀の厚さは10cm以上ですか。(塀の高さが2 m超2.2 m以下の場合は15cm以上)
- 3. 控え壁はあるか…(塀の高さが1.2 m超の場合) 塀の長さ3.4 m以下ごとに、塀の高さの1/5以上突出した控え壁がありますか。
- 4. 基礎があるか…コンクリートの基礎はありますか。
- 5. 塀は健全か…塀に傾き、ひび割れはないですか。



<専門家に相談しましょう>

- 6. 塀に鉄筋が入っているか…①塀の中に直径9mm以上の鉄筋が、縦横とも80cm間隔以下で配筋されており、縦筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか。②基礎の根入れ深さは30cm以上か。(塀の高さが1.2 m超の場合)

■ブロック塀の技術的な問い合わせ：岐阜県中濃建築事務所 ☎(0574) 25-3111 (内線 333)

NEW! 町ブロック塀等撤去等補助金を創設しました

安心安全なまちづくりを推進する一つの施策として、道路に面するブロック塀等の撤去についての助成制度「町ブロック塀等撤去等補助金」を創設しました。ぜひ、ご活用ください。

■ブロック塀等の撤去について

- 補助要件＝道路に面しており、道路の端部からブロック塀等までの距離がブロック塀等の高さの1.5倍以内かつ、地表から80cm以上のブロック塀等の撤去
- 補助金額＝標準事業費(1㎡＝1.5万円)と撤去に係る経費の少ない方の1/2以内で上限額20万円

通学路に面していたら

町内小中学校の通学路に指定されている道路に面している場合＝標準事業費(1㎡＝1.5万円)と撤去に係る経費の少ない方の2/3以内で上限額20万円

※ブロック塀等とは？＝コンクリートブロック、レンガ、^{おおやいし}大谷石等の積み上げて作られた塀や、門柱など
※その他、詳しい諸条件がありますので建設課へお問い合わせください

■生け垣の新設について

- 補助要件＝既存ブロック塀等を撤去し、撤去した場所に新たに生け垣を設置
- 補助金額＝生け垣設置に係る経費の1/2以内で上限額10万円

■問い合わせ：建設課管理係 担当：早川^{はやかわ} ☎(0574) 67-2111 (内線 2164)

高齢者等

インフルエンザ予防接種のお知らせ

高齢者がインフルエンザにかかると、重症化したり、合併症を引き起こしやすくなったりします。感染した時の症状を軽減するには予防接種が効果的です。予防接種をうけてから効果が出るまでに約2週間程度かかりますので早めに接種することが必要です。

※高齢者等インフルエンザは義務ではありません。本人が希望される場合に、必要性や有効性をよく理解したうえで接種してください。

期 間	平成30年10月1日（月）～12月25日（火）※ ※ワクチンがなくなり次第、終了となります。予防接種の開始時期・終了時期については、直接、医療機関にお問い合わせください。
対象年齢	町内に住民票がある人で、 ①接種当日に満65歳以上の人 ※昭和28年10月～12月生まれの人は、65歳の誕生日を迎えてからの接種になります。 ②60歳以上65歳未満で、「心臓、腎臓、呼吸器の機能、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能」の理由により、身体障害者手帳1級に該当する人 ※事前に保健センターにお申し出ください。
接種回数	期間中1回のみ
接種場所	可児市・御嵩町内の指定医療機関
自己負担金	1,500円 ※ただし、上記対象年齢で生活保護世帯の人は、自己負担金が無料です。 （事前に保健センターにお申し出ください）
持ち物	◎予診票 昨年度、この制度により実施医療機関で接種された人、今年新たに65歳になる人には、予診票を郵送します。※予診票が郵送されなかった人は、保健センターまたは医療機関にお申し出ください。 ◎本人が確認できるもの（健康保険証など） ◎接種料金（自己負担金1,500円）
注意事項	現在、治療中で、主治医以外の医療機関で接種を受ける人は、主治医に予防接種の可否を確認してください。 ★実施医療機関以外（岐阜県内）での接種をご希望の人は、保健センターにお問い合わせください。

御嵩町・可児市以外の介護保険施設（特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・グループホームなど）に入所中の人で、施設において接種を希望される人は各施設にご相談のうえ、御嵩町保健センターに申請してください（電話でも可）。



■問い合わせ：保健センター 担当：神田（内線 2192）

町内事業所の環境活動を紹介します

町内の企業・事業所が実施するCO₂削減に向けた先進技術や活動事例を順次紹介しています。



十六銀行株式会社

十六銀行は、環境問題への取り組みを社会的責務ととらえ、環境保全活動に継続的に取り組んでいます。

平成25年4月には、十六グループ全体での「環境方針」を新たに策定し、グループ全体が一体となって環境保全活動に取り組む体制となりました。また、自社がおこなう環境保全活動だけでなく、お客様のさまざまな環境活動を支援しています。

具体的活動として、平成13年にISO14001の認証を取得。平成15年に御嵩町と「環境の保全と創造に関する協定」を締結。平成29年9月に岐阜県および御嵩町と「じゅうろくの森“みたけ”」森林づくり協定の締結をしています。

■省エネルギー・節電の取り組み

本部・営業店・店舗外ATM・そのほかすべての施設の電力・ガスなどのエネルギー使用量を測定、集計するシステムを導入しています。毎月支店ごとの実績を分析し、きめ細かい省エネルギー対策、地道な省エネ活動をおこなっています。

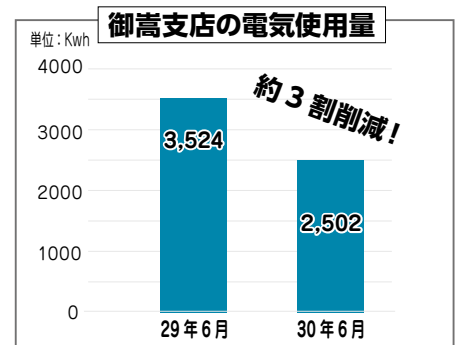
御嵩支店の電気使用量は29年6月「3,524Kwh」に対し30年6月は「2,502Kwh」と前年と比較して71%と大きく削減することができました。



■「エコ活動啓発ポスターコンクール」(環境啓発活動)

岐阜大学との連携活動として、環境問題に対する意識啓発を目的とした「エコ活動啓発ポスター」の募集を岐阜大学付属小・中学校の生徒を対象におこなっています。

本活動は、今年で7回目となり、今後も継続的に取り組み、より一層環境保全を広める活動を進めてまいります。



■地球環境に配慮した通帳

平成25年2月に通帳の用紙、インキを地球環境に配慮した素材に刷新しました。また、色づかいや文字の大きさなど、ユニバーサルデザインのコンセプトに基づいて見やすく・利用しやすい通帳としています。

外来生物について

外来生物とは、他の地域から持ち込まれた生き物のことを指し、その外来生物の侵入によって、地域に昔からある固有の生態系が乱れてしまうことが問題となっています。

御嵩町内でも、「特定外来生物」のオオキンケイギク・アレチウリ・ブラックバスが侵入しています。

また最近では、「特定外来生物」に指定されていない外来生物のタイワンタケクマバチやキショウブなども確認されています。

「特定外来生物」は、法律で飼育、栽培、保管又は運搬、売買、譲渡、屋外への放出が禁止されています。

例年、地元住民のみなさんや国土交通省、地元水利組合と協力しながら、駆除作業を実施していますが、外来生物の生息地拡散の防止にはみなさまの一層のご理解とご協力が必要です。よろしくお祈りします。

■問い合わせ：環境モデル都市推進室

担当：橋口^{はしくち} (内線 2242)



▲ アレチウリ



▲ ブラックバス



▲ オオキンケイギク

そのハガキ 詐欺ですよ

ハガキでの架空請求詐欺が急増しています 絶対に連絡先に電話しないで!!

最近、「身に覚えがない訴訟最終告知という内容のハガキが届いた」、「利用した覚えがない請求を受けているが、どうしたらよいか」といった架空請求に関する相談が、全国の消費生活センターに寄せられています。

今までは電子メールが主流だった架空請求ですが、最近はハガキでの被害が急増しています。

このハガキを受け取った人が不安を感じ、ハガキに記載されている連絡先に電話をすると、弁護士などを名乗る架空請求事業者から金銭の支払方法を指示されて、お金をだまし取られてしまうこととなります。

また、連絡をすることで電話番号などの個人情報を知られてしまうことにもなり、新たな詐欺のターゲットとなってしまうこともありえます。

身に覚えのない訴訟に関するハガキを受け取った場合は、そのハガキに書かれている電話番号には**絶対に電話をしないで**ください。

※架空請求業者が指定してくる金銭の支払い方法としては、銀行口座への振込、コンビニエンスストア（コンビニエンスストア収納代行）での現金支払い、電子マネーを購入後に、そこに記載されているカード番号を架空請求事業者へ連絡する、などがあります。

■問い合わせ：住民環境課ふれあい住民係 担当：井戸（内線 2103）

消費料金に関する 訴訟最終告知のお知らせ

この度、ご連絡いたしましたのは、貴方の利用されていた契約会社、もしくは運営会社側から契約不履行による民事訴訟として、訴状が出されました事をご通知いたします。

管理番号 [] 裁判取り下げ最終期日を経て訴訟を開始させていただきます。

尚、このままご連絡なき場合は原告側の主張が全面的に受理され、執行官立会いの下、給与差し押さえ及び動産、不動産の差し押さえを強制的に執行させていただきますので、裁判所執行官による執行証書の交付をご承諾いただきますようお願いいたします。

裁判取り下げなどのご相談に関しましては、当局にて承っておりますので、お気軽にお問合わせ下さい。

尚、書面での通達となりますので、プライバシー保護の為、ご本人様からご連絡いただきます様、お願い申し上げます。

※取り下げ最終期日 平成 30 年 10 月 [] 日

法務省管轄支局 訴訟最終告知通達センター
東京都千代田区霞が関 2 丁目 6 番 1 号
取り下げ等のお問い合わせ窓口 03-[]
受付時間 9:00 ~ 20:00 (日、祝日を除く)

【ハガキによる架空請求の例】

町民のもとに実際に送られてきたハガキを一部加工して掲載しています。

タイトルは、ほかに「総合消費料金未納分」などの場合があります。

期日は、ハガキが届いた日から近い日が設定しており、急いで連絡を取るよう仕向けます。

公的機関に類似した名称をかたっています。ほかに「国民訴訟通達センター」などがあります。

◎お困りの時は…

「消費者ホットライン」

☎ 188 (いやや!)

地方公共団体が設置している身近な消費生活センターや消費生活相談窓口を案内します。

警察 ☎ #9110

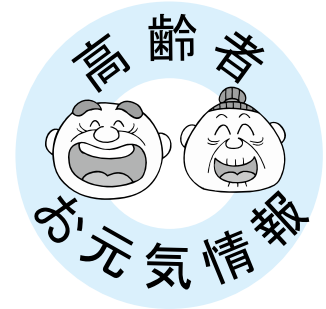
はいかい
徘徊高齢者 SOS ネットワーク

ほっとねっと模擬訓練

10月24日(水)

地域包括支援
センター

(高齢者なんでも相談窓口)



時間：午後2時～午後3時 (雨天中止)

平成23年より、御嵩町ではお年寄りが行方不明になった際に少しでも早く発見し家族のもとに帰れるよう「ほっとねっと」(御嵩町徘徊高齢者 SOS ネットワーク)が作られました。

今年度も行方不明発生から保護までの流れを訓練します。

事前に登録して下さった協力機関のみなさんには、FAXやメールで、町民のみなさんには防災無線で行方不明者の情報をお知らせします。

行方不明者役の人への声掛け、役場への電話での情報提供などをお願いいたします。

捜索役のボランティアを募集!

今年度の訓練では、より多くの地域のみなさんに「ほっとねっと」のことを知っていただくために、行方不明者の捜索役として参加していただける人を募集します。協力いただける人は、10月12日(金)までに御嵩町地域包括支援センターまでご連絡ください。

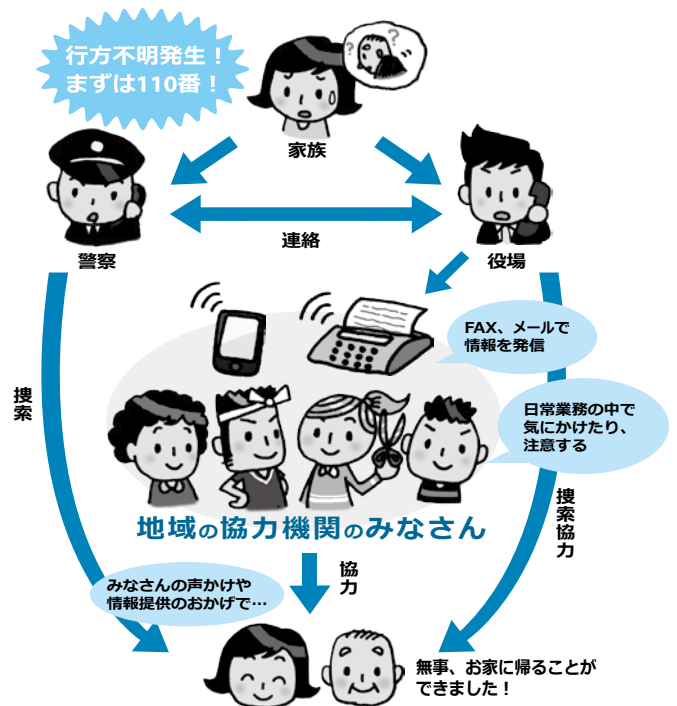
●問い合わせ・行方不明者を見つけた際の連絡先

御嵩町地域包括支援センター

TEL: 0574-67-2111 (内線 2116)

FAX: 0574-67-1875

訓練の流れ



認知症サポーター養成講座 10月10日(水) 中公民館

場所：中公民館 2階 A2・3室

時間：午後1時30分～午後3時

認知症についての理解や対応方法を学んでみませんか。

御嵩町地域包括支援センターでは、認知症サポーター養成講座をおこないません。認知症の人は間違った対応をしてしまうと、焦ってしまったり、怒ってしまったりと予期せぬ事態になりかねません。

そこで認知症サポーター養成講座を受けていただき、認知症に対する基本的な知識や対応方法を学んでいただき、是非ともほっとねっとの模擬訓練にも参加してみてください。

■問い合わせ：地域包括支援センター(保険長寿課高齢福祉係内) 担当：秋松^{あきまつ}(内線 2116)



「移動」を「エコ」に。

smart
move

地球にやさしい移動に チャレンジ！

マイカーはひと休み：

やってみよう！ 月に1度はノーマイカーデー！

10月10日～16日は

『みたけノーマイカーデー』重点実施週間です

通勤・通学・買い物・旅行など、私たちは、毎日、どこかへ出かけます。そんな日々の『移動』を『エコ』にする、新たなライフスタイルに挑戦してみましよう。

町では、毎月第2水曜日を「みたけノーマイカーデー」実施日としています。実施日には、マイカーはひと休みして、公共交通機関や徒歩、自転車といった環境にやさしい移動手段を心がけてみませんか？

◎何をすればいいの？

無理をする必要はありません。あなたができる範囲でマイカーでの移動を控えてみませんか。例えば、最寄り駅までの移動の際に、徒歩、自転車、移動したり、通勤や通学、旅行やちょっとした外出のときに、電車やバスなどの公共交通機関を利用してみましょう。

◎どんな効果があるの？

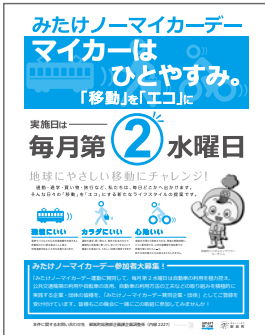
電車やバスなどの公共交通を利用すると、移動時のCO₂(二酸化炭素)排出量はぐんと減少し、地球温暖化防止に

大きな効果があります。また、駅やバス停まで歩いたり、自転車に乗ったりすることで、健康や美容にもうれしい効果が期待できます。

◎取り組みをはじめたいときは？

取り組みは、個人でもよいですし、企業・団体・グループ単位で取り組んでいただくと幸いです。取り組んでいただける場合は、ぜひ「みたけノーマイカーデー運動参加宣言」を役場企画課まで提出してください。

現在、22の事業所等が参加宣言をされています。運動参加宣言の様式は町のホームページにも掲載しています。



■問い合わせ…企画課企画調整係
担当：日比野(内線 22206)

町の教育に貢献！

教育委員会表彰

▼ 受賞された中学生

▼ 英語スピーチ



受賞者は次のみなさんです。(順不同・敬称略)

8月22日(水)、御嵩町役場で「御嵩町教育の集い」がおこなわれ、その中で、教育の推進に功績が顕著であった5名が表彰されました。

続いて中学生代表による英語スピーチと、御嵩町教育委員会生涯学習課文化振興係 若尾要司主任指導員を講師として「願興寺 修復へ」と題した教育講演会がありました。

氏名	所属・役職など	功績
たなせ さとし 棚瀬 哲	上之郷小学校 校長	
もり なおき 森 直樹	共和中学校 教頭	多年にわたり教育の中核として、児童生徒の健全育成に寄与し、学校教育の推進に尽力
なかしま まさかつ 中島 正勝	上之郷小学校 教諭	
にしかわ しりゅう 西川 詩琉	向陽中学校 3年	硬式野球の練習に励み、全国大会に出場する(団体)など、他の模範となる活躍
いのうえ ひろたか 井上 裕翔	共和中学校 3年	

■問い合わせ：教育センター(学校教育課学校教育係内) 担当：梅田(内線 2330)



自分らしさを 実現できる町

みたけ



御嵩町男女共同参画懇話会

「オバサン化？」のすすめ

ある新聞に興味深い投稿を見つけました。私と同年代の岐阜市の66歳の女性からのものでした。

彼女は、孤独というものは、喫煙^{きつえん}や肥満よりも病気になりやすいという研究成果を紹介されていました。日本では中高年の男性のほうが、女性に比べて孤独^{おちい}に陥る可能性が高く、団塊の世代が後期高齢者の仲間入りをする超高齢化社会では、孤独化が見逃^{おちい}ごせない大きな社会問題になると心配されています。

英国では「孤独は万病のもと」ともいわれているそうです。

ある専門家によれば、孤独への処方箋^{しよほうせん}は「オバサン化」だそうです。日常的に気軽に他人と会っておしゃべりして交流することが大切

で、1日に少なくとも8人に会うと良いともいわれています。

近所の喫茶店などでおしゃべりに夢中なオバサン？たちをよくお見かけします。

女性がオバサン化すると、男性より積極的に人と会い、おしゃべりを楽しむことができるようです。実はこんなところに、女性の長寿の秘訣があるような気がします。

私はすでになかなかオバサン化していますが、ますますオバサン化に磨きをかけ、多くの人とふれあい、おしゃべりを楽しみたいと思っています。

男女共同参画懇話会委員 安藤昌子^{あんどうまさこ}（栢森）

■問い合わせ：企画課企画調整係

担当：安藤^{あんどう}（内線 2227）

国民健康保険被保険者証の様式が変わります

平成30年度の国保改革により都道府県も国保の保険者となったことに伴い、平成30年12月1日から被保険者証の様式が変更となります。変更点は以下の通りです。

- 被保険者証名を「岐阜県国民健康保険被保険者証」とします。
- 「資格取得年月日」の記載を「適用開始年月日」に改めます。
- 退職被保険者証の場合、「該当年月日」を「適用年月日」に改めます。
- 「保険者」の記載を「交付者名」に改めます。

なお、今回の変更は様式だけなので、被保険者証はこれまで通りお使いいただけます。

また、現在の被保険者証の有効期限は平成30年11月30日です。

新様式の被保険者証は、更新にあわせて11月中旬に簡易書留で送付します。

【変更後被保険者証】 青字の部分が変更になります

岐阜県国民健康保険 被保険者証 有効期限 平成31年 11月30日

記号番号 9999999

被保険者 カイドウ ジロウ

氏名 街道 次郎

性別 男 生年月日 昭和46年12月 1日

住所 岐阜県御嵩町御嵩999番地99

世帯主氏名 街道 太郎

適用開始年月日 平成18年 11月26日

交付年月日 平成30年 12月 1日

保険者番号 211045

交付者名 御嵩町



■問い合わせ：保険長寿課国保年金係 担当：金子^{かねこ}（内線 2113）

教育の窓から

教育委員会シリーズ

生涯学習編

上之郷中学校

上之郷中学校の伝統を学ぶ

触五山茶園活動

上之郷中学校では、触五山茶の生産を60年以上続けています。

この触五山茶づくりは、上之郷中学校の伝統的な活動であり、本校の教育活動の一環として地域のみなさんと共におこなっています。

今年も5月に、地域の指導者、そして保護者、上之郷小学校の6年生、町民のみなさんをお招きして茶摘み、茶もみの体験活動をおこないました。

午前中は茶園で「一芯三葉」を確かめながら茶葉を摘み、午後は摘んできた茶葉を蒸した後、揉んで乾燥させるまでの一連の作業です。

今年も地域の誇りある活動として、ただ伝統を引き継ぐのではなく、その意味を見直そうとしています。

6月には、長年茶園を管理してくださっている山田久一さんにお話を伺いました。普段、どのように茶園を管理されているかを知り、改めてその努力に感謝の気持ちを持ちました。

また、白川町の手揉み研究会に協力いただき、いかに丁寧に茶葉を扱って

いるのかを習い、それによる味の違いを飲み比べてみるなどして、触五山茶を新たな視点で見直すとともに、お茶と地域に対する愛着を確かめています。

このような活動を通して、上之郷中学校の伝統を学ぶと同時に、生徒が主体的に触五山茶作りに関わり、地域との交流の輪が広がっていくことが何よりの財産です。

実りある体験活動になりました。

■問い合わせ：学校教育課学校教育係
担当：井澤（内線2304）



▶地元のみなさんと交流しながらの茶摘みは楽しい時間です

▶真剣なまなざしで山田さんのお話を聞く子どもたち

御高町の文化財

大寺山願興寺解体にともなう新発見について

「重要文化財 願興寺本堂」の解体が本格的にはじまるにあたり、現在は建物の事前調査を実施していますが、そこで新たな発見が2つありました。

調査は、文化財の修理の専門機関「公益財団法人 文化財建造物保存技術協会」がおこなっています。

まずはじめに、本堂の内部には、本尊の薬師如来像を納める「宮殿」と呼ばれる建物が設置されていますが、この「宮殿」は願興寺に伝わる「大寺記」によると、慶長15年（1610）に建立されたこと記されています。

そして、今回の事前調査でそれを裏付けるように、仏壇下から棟札が発見され、そこには「本尊の宮殿を造営せらる」とあり、それが「慶長15年」であるとはっきり記されているのです。

いままでは、寺の伝記として記されていた内容しか残っていませんでしたが、造営と同時に納められるこの棟札の発見により、慶長15年に確実に造営されたことが証明されました。現在は、本堂本体のみが重要文化財に指定されていますが、こつした証拠から、今後「宮殿」も追加で重要文化財以上に指定される可能性が出てきました。

2つ目の発見は、本堂の回廊部分になりますが、土足で入れるところを「外

◀ 仏壇下からでてきた棟札。慶長15年と読むことができる。



陣」靴を脱いで入るところを「内陣」と区別しています。

実は、調査で「内陣」にある畳を取り外したところ、「外陣」と同じような床板がその下に貼ってあり、以前は「内陣」と「外陣」の境が違っていただけではないのか？ということがわかってきました。

現在は、本尊の薬師如来像は本堂西の霊宝殿に収蔵されていますが、昔は、本堂の「内陣」にあるこの「宮殿」に納められており、より本尊の近くまで土足のまま近寄ることが出来ていたことがわかってきました。

このように、事前調査でもいくつかの新たな発見がされていることから、今後さらに解体がすすんでいくなかで、驚くような発見があるかもしれない。

また新たな発見があった場合は、紹介をしていきたいと思っております。

■問い合わせ：生涯学習課文化振興係（中山道みたけ館）
担当：栗谷本 ☎67・7500



★御高町農業委員会の活動を発表しました！

「平成 30 年度岐阜県農業委員・農地利用最適化推進委員大会」が 8 月 29 日に関市で開催され、御高町農業委員会の鍵谷幸男会長が、農業委員会の取り組みについて発表しました。

これは、町農業委員会が農地に関する課題解決、特に耕作放棄地対策に力を入れており、その取り組みが新聞などに掲載されたことから事例発表の依頼を受けたものです。

農業委員と農地利用最適化推進委員は、JA めぐみの職員、農事組合法人ふしみ営農と連携し、比衣地区の遊休農地 4,365 m²の草刈り等をおこないました。その後、ふしみ営農が農業の担い手として営農を開始したことで、耕作放棄地が再生されました。

6 月には樹木や笹が繁る別の農地 738 m²について再生に向けて活動を開始しています。

他市町村の参加者からは「今後の活動にとっても参考になった」という声が多く聞かれました。



★被災地のために子どもたちが活動！

みたけ JLC (御高町子ども会育成協議会) が、8 月 4 日の「よってりゃあみたけ」会場内で募金活動をおこないました。

これは、公益社団法人全国子ども会連合会から「平成 30 年 7 月西日本豪雨被害緊急寄附金」の依頼を受け、実施したものです。

JLC のメンバーは、会場内をくまなく回り募金を呼びかけ、募金額は 40,097 円となりました。快く募金にご協力頂いたみなさまに感謝申し上げます。

頂いた寄附金は、全国子ども会連合会事務局へ送金しました。

同会では、全国から集まった寄附金を被災地の教育委員会へ送金します。被災されたみなさまの生活再建と、一日も早い復興をお祈り申し上げます。



子ども古本店店主 中島英昭さんによる
講演会&実演ライブ♪

御高あかでんランド同日開催

「みんなを笑顔にする！
絵本と紙芝居の魅力的な演じ方」

10月21日(日)

【講演会】

会場：中山道みたけ館 2階（郷土館）
時間：10：00～12：00（9：30 開場）
定員：80 名

【実演ライブ】

会場：中山道みたけ館 第 2 駐車場
時間：第 1 部 13：00～
第 2 部 14：30～

※屋外のため、天候によっては中止することがあります。



MITAKE AKADEN LAND

御高あかでんランド

乗って、撮って、歩いて、楽しむ。
一日限りの特別な遊園地♥

10/21 2018 (日)
10:00 - 16:00

【受付開始】9:30 【オープニング】9:45
【受付場所】名鉄御高駅南 御嶽宿さんさん広場

最新情報やアトラクションの詳細は
公式 facebook で発信中！

<https://www.facebook.com/gogo.hiromisen/>

